

豊津高校卒業 50 周年記念クラス会

2017.01.04

41 年卒 古賀 大生

昨年の秋、クラスの世話役の KY 君からメールが入った。地元にいる同期の数人で飲み会をしているうちに、卒業 50 年を機会にクラス会をやろうという話になったとの事で、還暦記念に白浜でやったように、今回は復興支援の一助になるよう、熊本で年末に開催するとの知らせであった。昨年末には早生まれの者は除いて大半が数えて 70 歳に達しているのに、古希の記念にもなると思い、早速出席のメールを打った。

メールの案内には、12 月 10 日午前 9 時に行橋駅に集合し、旅館が用意したバスで田川・飯塚を經由し桂川で博多組を拾い、鳥栖インターで高速に乗り込み、熊本の植木温泉に昼前に到着することになっていたが、残念ながら私の近くの駅の朝一番の電車に乗っても行橋の集合時間には間に合いそうにない。熊本空港へ飛び、バスを乗り継ぎ宿泊先で合流することにした。

熊本空港からリムジンバス、路線バスを乗り継ぎ 2 時間かけて辿り着いた頃には午後 2 時を回っていた。参加の仲間は昼食と小劇場での田舎芝居観劇を済ませ、おりしも旅館前のグラウンドゴルフ場へ向かう所であった。私は最寄りのバス停から 30 分かけて汗びっしょりで、グラウンドゴルフには不参加の旨を伝え、ひと風呂浴びることにした。植木温泉の湯は、匂いは無いがヌメリがあり、非常に気持ちの良い湯であった。

3 年 6 組、7 組の合同クラス会である。

二組み合わせて 104 名の中で、物故者が 10 名おり、当日急用で出られなくなった者 2 名の残り 92 名のうち出席者は 20 名であった。

懇親会での出席者の近況・・・

- ・幹事の KY 君は一昨年すい臓がんの 4 期だと宣告されたが、同期の医者 MA 君に紹介された病院にかかり、12 時間の手術と以降の放射線治療などを乗り越え、ただいま順調に回復中。
- ・KY 君のかかりつけ医の MD 君は、昨日ぎっくり腰になったそうでクラス会に出席できず、まさに医者不養生か？

- ・東京から駆け付けた OZ 君は、2 年前に外資系アイスクリーム会社の社長を退き、悠々自適のゴルフ三昧。
- ・九州大学名誉教授だった OS 君は、長年の夢だった女子大学の教授になり、毎日が桃色の生活を送っている。
- ・今は存在しないが巨大スーパーの要職で勤務し、一時はセレッソ神戸の雇われオーナーも務めた KT 君は、玄界灘が見渡せる街に住み、晴耕雨読の余裕生活。
- ・日本の大手鉄鋼メーカーに勤めていた MY 君は、8 年前に神戸から故郷へ U ターンし、学童の指導員で生き生きした生活を送っている。
- ・同じく同鉄鋼メーカーに長年勤めた SZ 君は、現在アルバイトで趣味のゴルフ費用を捻出し、エイジシューターを目指している。
- ・大分在住の SY 君は、会社の名前が気に入って願書を出したが、面接で初めて百貨店であることを知り、そのまま大分に居ついてしまったが、百貨店の売り場には一度も顔を出していないという風変わりな愛すべき人物。
- ・他の数名のクラスメートは、故郷の親の土地を引き継ぎ、余裕をもって半農家の生活を楽しんでいる。
- ・かく言う私は 54 歳で大阪の大手ゼネコンを早期退職し、晴耕雨読で金剛山中腹の畑を耕し、数年間にわか農業をかじっていたが、猪に収穫物を全て食べられた日から奮起一転し、60 歳で建築の仕事に戻り、現在も大阪の心斎橋でホテル建設工事の監理を行っている。

宴会が終わった後に幹事の部屋に集合し、真夜中まで盛り上がったことは言うまでもない。

2 日目は、旅館が用意したマイクロバスで熊本城の見学へ。

今までテレビの画面でしか分からなかった被災状況をつぶさに見て、皆はほとんど無言であった。城壁の下では崩落した石垣の石に番号を記す作業が進んでいた。多分、昔の写真を参考にしながら一枚ずつ番号を振って元通りに復元するための準備であろうが、今後も続く想像も絶する膨大な時間が想像された。

昼食後、大型バスで行橋への帰路に着く。

鳥栖インターまで国道 1 号線を進み、途中で立ち寄った“夢大地”というまちの駅からは遠く阿蘇中岳の噴煙を見ることができた。

気心の知れた仲間と過ごすバスの時間はあっという間に過ぎ、気が付くと飯塚・田川を通り過ぎ、午後 4 時には行橋駅前に到着。

バスの中で、幹事の KY 君に次回開催を満場一致で託し、はじける笑顔で別れたクラスメートが、次に会えるのは何年後か？

それまでは、元気にしておこう。



